

太鼓と芝居の たまっ子座

太鼓や笛が臨場感たっぷりに描く

大冒険活劇！

ことの起こりは「忍者秘伝の巻物」

「忍者は正しいことを行う」…フクロウ校長のもと修行に励む動物たち。
空を飛ぶたいウサギやいつも腹べこのカメ、級長のオオカミたちが夢の実現
を目指して、巻物を探す。はたして巻物を手に入れることはできるのか！？

忍ぶ者学校

作／演出／作曲 末永克行

プレイガイド

亀山市文化会館
亀山エコー案内所
鈴鹿ハンター
青少年研修センター
(一社) 亀山市観光協会
フジヤ
亀山こども劇場

2026年 **3月21日** (土)

開演 13:30 開場 13:00

亀山市文化会館大ホール

1月10日(土)
前売開始！

- ★ 入場料 全席自由1,000円(税込み) ※3歳以上はチケットが必要
(3歳未満保護者1名につき1名まで膝上鑑賞無料。ただし、お席が必要な場合はチケットが必要)
- ★ 主催 (公財) 亀山市地域社会振興会(亀山市文化会館) 共催 亀山こども劇場
- ★ 後援 亀山市教育員会／鈴鹿市教育委員会
- ★ お問合せ先 亀山市文化会館 電話：0595-82-7111
亀山こども劇場 電話：0595-83-3534【開局 金曜日 10:00~15:00】

亀山こども劇場
インスタグラム



©KAMEYAMAKODOMO

どうぶつ
忍者学校
紹介動画



変身せよ、子どもたち！ はばたけ！自由をつかめ！！

子どもたちを見ていると「その正義感はどこから？」と思う。
DNAの奥深く、40億年の時を越えて伝えられてきたいのち。
そのいのちの正しさを伝えるために、子どもたちが生まれ持つ熱い正義の血…。

人間社会の都合や欲望が優先し、
思考停止や感性の同一化をあおるようにモノのあふれる現代に、ひらりと身をかわし、
子どもたちの憧れの的「忍者」は、寡黙に立つ。

忍者は正しいことを行う。忍者は他人に尽くす。仲間を信頼し裏切らず、大切にする。
武器は攻撃のためではなく、自分の身を守るためと知る。

体を鍛え、技を磨き、学びと工夫で術を編み出す誇り高き忍者に、
自由に育ち行く子どもたちの未来を重ね、希望を託す。

演出ノートより

「どうぶつ忍者学校」校歌

作詞/作曲 末永克行

～ 風の色 森の歌

空は 大地は待っている みんな みんな 待っている

忍者は何じゃ 何者は忍者 忍者は何じゃ 何者は忍者

泣いて 笑って 怒って 転んで 擦りむいて

悩んで へこんで 疑って いじめて 嘘ついて

己のことを知るために ホントのことを考える

忍者は何じゃ 何者は忍者 忍者は何じゃ 何者は忍者

見る、聞く、話す 知って 感じて 考える

歩く、走る、止まる 空気 感じて 確かめる

見えないものを見るために ホントのことを見るために

忍者は何じゃ 何者は忍者 忍者は何じゃ 何者は忍者

太鼓曲 「忍者太鼓」 「激流」 「火の太鼓」 「ドクロ」 「翼太鼓」

＜忍者豆知識＞

忍者のはじまりには幾つかの説がありますが、800年程前、寺院や貴族たちの領地とされた荘園の中で、土着の地主たち、田や畑を耕し生活してきた者たちが、修験山伏から学んだ戦法や奇襲や撓乱などを用いて反抗的な行動を起こします。「悪党」と呼ばれた彼らの血は、やがて「地侍」に引き継がれ、戦国時代の頃から「忍び」と呼ばれるようになったようです。ある時は商人や武士、ある時は物売りや役者に変装して情報を集め、剣術や火術、呪術、変装術、心理学や薬学、天文学にも通じていた忍者たち。自らの体を通して技を生み出し、生きる道を模索してきたと言えます。

たまっ子座は…1985年創立。和太鼓を中心に「自然と人間」をテーマとしたドラマチックな創作、上演活動を続け、一般公演や子ども劇場おやこ劇場、幼稚園、保育園、学校など国内はもとより、ヨーロッパや北米、アジア等海外でも、「時代や民族を越える芸術」と高い評価を頂いています。

舞台とのエネルギーで楽しい出会いが、心と体の免疫力を高め、日々留まることのない子どもたちの成長や、地域を繋ぐ一助となることを願っています。（代表末永克行/作/演出/作曲/俳優/篠笛奏者）

太鼓と芝居の **たまっ子座** since1985

〒197-0003 東京都福生市熊川1346-2 TEL 042-552-0046
<http://www.interq.or.jp/drums/tamakko>